

クラブ活動報告

少年野球を支援 第35回和歌山東南RC旗争奪野球大会

和歌山東南ロータリークラブ

当クラブの青少年奉仕の継続活動として、少年野球(和歌山市軟式野球連盟東支部)の支援を行っています。

この支援は、1985年「創立15周年事業」として優勝旗の寄贈から始まりました。今大会は、東南ロータリークラブ旗争奪野球大会として、現在35回目を迎えます。

小学生のチームが、A・Cという学年別に分かれ、開会式には十余チームの凜々しい行進と宣誓を、閉会式には、ゲームセットの瞬間の見届けと、それぞれの優勝チーム・準優勝チームの表彰式に参加します。会員同士が誘い合わせ、時間のある者多数が行きますが、皆口をそろえて「元気をもらった」と言うのが興味深いです。

他にはグラウンド使用料、ボール代、賞状、メダルや、定期的にテントの張替、乗用芝刈り機など、年間平均20万円弱の奉仕予算ですが、未来ある少年少女の野球(スポーツ)を通じた礼儀・チームワーク・スポーツマンシップに感動し、また、苦しい練習を試合で試す達成感という貴重な体験の共感者にさせて頂いております。

考えてみると奉仕活動はつくづくウインウインそのものだ実感します。未来ある小学生が成長する過程の一助になればと始まった活動であります。自身の感動や自己研鑽にも十分な体験であると思います。また、当時小学生だった少年は現在四十代の働き盛りの壮年になっていると思うと継続事業の意味も感慨深いと思えました。

